

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2021 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市厚別公園陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) 本競技場を使用しての練習は競技開始の 15 分前までとする。

3. ナンバーカードについて

- 1) 学連に登録した競技者は、各自の学連ナンバーカードを使用する。まだナンバーカードを受け取っていない競技者は、受付まで団体ごとに学連ナンバーカードを取りに来ること。
- 2) 腰ナンバーカードは各校が用意したものを使用する。個人トラック種目出場者については両側につける。
- 3) 3000 以上の競技の出場者は通しナンバーカードを体の前後に付ける。通しナンバーカードについても各校が用意した者を使用する。
- 4) 女子の競歩種目に出場する競技者は自身のレーンナンバーに 10 を加えたもの(例:3 レーンであれば 13)を腰ナンバー、通しナンバーカードに記入する。

4. 補助競技場の使用について

- 1) 補助競技場への出入口は 100m スタート後方部分のみとし、その他の出入口は使用しない。
- 2) 補助競技場の使用時間は大会の競技終了時間までとする。
- 3) 秩序のある練習をし、安全に留意して使用すること。
- 4) 補助競技場の芝生以外でのテントの設営を禁止する。

5. 点呼について

- 1) 競技者は指定された時間までに1次点呼(○付け、又はシューズ検定)を行い、その後各競技開始場所に直接集合する。
- 2) 5000m ではシューズの厚さ検定を持って 1 次点呼とする。シューズ検定は時間がかかる場合があるため、早めに受けることを推奨する。
その他の競技では○付けを持って 1 次点呼とする。
- 2) 1次点呼(○付け)・現地集合時刻は以下の通りとする。

	1 次点呼	現地集合時間
トラック競技	競技開始 40 分前	競技開始 20 分前

- 3) 1次点呼を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

- 4) 代理人による招集最終確認は原則として認めないが、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。
- 5) 1次点呼場所は、メインスタンド正面入り口内ホールに設ける。
- 6) 1次点呼終了時刻、及び現地集合時刻はプログラム記載の競技日程の通りとする。

6. シューズについて

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR5 に基づいたシューズを着用すること。

以下の表は日本陸上競技連盟陸上競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より厚い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
障害物競走を含む 800m 以上のトラック種目	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
競歩種目	40 mm	

- 2) 靴底の厚さ計測を行うため、競歩と障害物競走を除く 3000m 以上の種目に参加するものは 1 次点呼として全員必ずレースで使用するシューズを 1 次点呼場所に持参しシューズの厚さ検定を受けること。1 次点呼を兼ねているため、検定を受けなかった場合は棄権として処理されるので注意すること。
- 3) シューズ検定は競技開始 90 分前から開始する。

7. 棄権について

- 1) 事前に棄権することがわかっている場合は、指定の期日までに指定の方式で申し出ること。
- 2) 大会当日、やむなく棄権する場合は、棄権届け(2枚)に必要な事項を記入し、競技者係と本部へ提出すること。
なお、棄権届は大会受付(メインスタンド下役員審判控室)にあるので、取りに来ること。

8. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し、復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) 次の種目は、競技進行に遅れを生じさせる恐れがある場合のみ、次の条件で打ち切ることがある。制限時間は以下の通りとする。また、このタイムは変更の場合がある。

男子 5000m	18 分 00 秒	女子 5000m	22 分 00 秒
男子 5000mW	32 分 00 秒	女子 5000mW	35 分 00 秒

9. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから 30 分以内に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金 10,000 円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

10. 入場許可兼撮影許可リボンについて

- 1) 本大会会場には別資料新型コロナウイルス感染症予防対策資料記載の通り、すべての欄に記入のある体調管理チェックシートを提出しない者、チェックシートに○のついている者、当日体調不良の者、同居家族や知人、友人に感染の疑われる人がいる者等は入場ができない。

- 2) 競技会当日の朝にチェックシートを提出した者には安全ピン付きのリボンを配布するので、服のよく見える位置につけること。リボンをつけていない者はチェックシートを提出していない者として、提出または会場からの退場をお願いするので必ずリボンをつけること。
- 3) なお、このリボンは撮影許可証を兼ねるため、リボンをつけている者は撮影が許可されている場所(スタンド上)からの撮影を許可する。ただし、競技者(選手)がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。

11. その他

- 1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。
- 2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 3) 競技中の事故等による身体の故障の場合、応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする(競技者保険の適用)。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。
- 4) 大会期間中に出了ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
- 5) 不審者等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
- 6) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。